

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	全コース
授業科目	楽器レッスン3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	R y u t a
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン
授業概要	音楽活動の幅を広げるために、基礎的なピアノなどの演奏を学びます。
到達目標	ギターまたはピアノの奏法、各ジャンルなど幅広い視野と考察力を習得する。自分ならどうやって演奏するか、しっかりとアウトプットさせる経験を積む。アートの知識を自分の作品やパフォーマンスに生かすことで技術を向上させる。
授業方法	毎回テーマとなる課題を教科書やプリントで確認し、全員で取り組む。このスタイルや考え方によりバリエーションが生まれることも確認する。
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	なし。参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画	
第1回	Gt:様々なコードをパワーコードで弾いてみる1/Key:1年次のテクニックの復習(1)
第2回	Gt:様々なコードをパワーコードで弾いてみる2/Key:1年次のテクニックの復習(2)
第3回	Gt:メジャーコードを5弦ルート、6弦ルートで弾いてみる。/Key:転回系に慣れる(1)
第4回	Gt:マイナーコードを5弦ルート、6弦ルートで弾いてみる。/Key:転回系に慣れる(2)
第5回	Gt:ペンタトニックスケールでアドリブを弾いてみよう1 /Key:スローテンポの曲をリズム変化させてコード伴奏を弾く(1)
第6回	Gt:ペンタトニックスケールでアドリブを弾いてみよう2 /Key:スローテンポの曲をリズム変化させてコード伴奏を弾く(小テストとする)
第7回	Gt:min7(♭5)コードや7(9)コードを活用したコード進行に対応1 /Key:指定した曲を自分でアレンジしながらコード伴奏を考える(1)
第8回	Gt:min7(♭5)コードや7(9)コードを活用したコード進行に対応2 /Key:指定した曲を自分でアレンジしながらコード伴奏を考える(2)
第9回	Gt:分数コードを的確に弾く /Key:テンションコードを2つ以上演奏
第10回	Gt:コード・ヴォイシングを意識して自分だけの響きで弾いてみよう！ /Key:テンションコードを2つ以上演奏
第11回	Gt:日本の有名曲をコード進行のみを見て弾いてみる1 /Key:アップテンポの曲を演奏
第12回	Gt:日本の有名曲をコード進行のみを見て弾いてみる2 /Key:アップテンポの曲を演奏
第13回	Gt:日本の有名曲をコード進行のみを見て弾いてみる3 /Key:右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。
第14回	Gt:まとめ1 /Key:右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが演奏出来る。
第15回	Gt:まとめ2 /Key:まとめ(教員が指定した曲の試験)